

## 2.3

## VBAで絵を描く

(1) **図形の特定** 2.2節で示したように図形描画のSubプロシージャを作成し、それを呼び出す方法でプログラムを書きますが、図形の移動、色の変更、図形消去等、図形を操作するには、操作対象となる図形を特定する必要があります。その方法には、次の2通りがあります。

- ① 生成された時点で図形の名前を保存しておく。
- ② 生成された図形に特定の名前を付ける。

本書では、②の方法を採用しています。

(2) **メッシュ表示のプログラム** 有限要素法における図形描画では、一般に節点データと要素データからなるメッシュを表示します。そこで、まず、ひとつのメッシュを描画するSubプロシージャを示します。

準備として、以下のような描画を行うシートを用意します。シート名は「図」としています。

	A	B	C	D
1			最小X	200
2			最大Y	700
3			スケール	5
4				
5				
6				

図 / 節点データ / 材料データ

また図を表示するための  $X=0$  のときのシート上の  $X$  座標をセル D1,  $Y=0$  のときのシート上の  $Y$  座標をセル D2, スケールをセル D3 に入力しておきます。

シートのスタイルとしては、「ツール(T)」－「オプション(O)」の表示タブの「枠線(G)」チェックオプションで、枠線を消しておくほうが見栄えがよいでしょう。